

議会だより



日本一人口の多い村

題字：上^{かみ}村^{むら} 実和子（古堅小学校6年生）

59号 2014年9月
定例議会

権の花運動 植え付け式

・南っ子は友達を大切にします。

・南っ子は命を大切にしま

「南っ子人権宣言」



石嶽 傳賢
三年 代表

田中 平次
三年 代表

川邊 悠
四年 代表



議長就任あいさつ

伊波 篤

村民の皆さまには、日頃から村議会にご理解ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、9月7日に執行された議会議員選挙において19名の選良が誕生しました。

議員全員、自らの資質の向上に努め村政発展のため専心努力する所存であります。

私は、先の定例会で第9代議会議長に就任いたしました。

責任の重さを痛感するとともに身の引き締まる思いでございます。

地方分権改革が推進される中、村政の監視役である村議会の果たす役割は益々大きくなっております。

議会は、村民の代表機関であることを自覚し、情報公開と村民参加を原則とし村民に開かれた議会をめざして活動してまいります。

そのためには、多様化する村民ニーズを的確に把握し、その声を議会に反映させるとともに、直面するさまざまな諸課題について幅広い活発な議論を行い、行政と議会が常に一定の緊張感を持ち互いに協力しながら、諸施策の更なる充実を目指し「日本一人口の多い村」の発展、更には村民福祉の向上のために精一杯頑張っていく所存であります。

平成二十一年十月から施行された「読谷村議会基本条例」の理念のもとに勇氣ある改革の議論も積極的に取り組み議会活性化にむけて、形の見える改革を推進して行きたいと考えます。

議員各位並びに村当局のご協力をお願いするとともに、更には村民の皆さまのご支援、ご協力も賜りますようお願い申し上げます。



③ 読谷村議会 だより

議席順位

議 長	伊 波 篤	副 議 長	城 間 勇
-----	-------	-------	-------

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
氏名	與那覇徳雄	知花徳栄	新城昭彦	山内政徳	山城正輝	仲宗根盛良	仲眞朝雄	新垣修幸	當間良史	比嘉幸雄	津波古菊江	上地利枝子	上地榮	伊佐眞武	長浜宗則	神谷嘉栄	城間勇	國吉雅和	伊波篤

所管委員会名簿

◎総務常任委員会（6人）

総務企画部、選挙管理委員会、監査委員及び他の委員会に属しない事項

委員長	伊 佐 眞 武
副委員長	上 地 榮
委員	山 内 政 徳
〃	山 城 正 輝
〃	新 城 昭 彦
〃	津 波 古 菊 江

◎建設経済常任委員会（6人）

建設経済部、水道課及び農業委員会に関する事項

委員長	仲宗根盛良
副委員長	上地利枝子
委員	新垣修幸
〃	當間良史
〃	比嘉幸雄
〃	長浜宗則

◎文教厚生常任委員会（6人）

生活福祉部及び教育委員会に関する事項

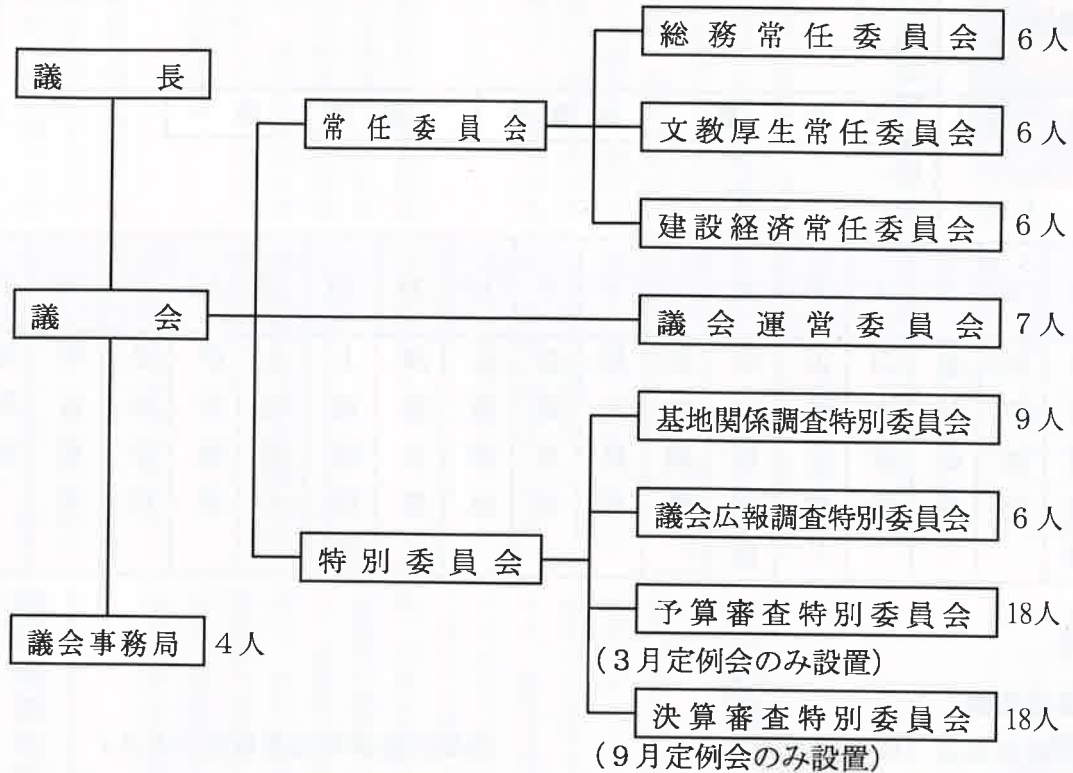
委員長	國 吉 雅 和
副委員長	與 那 覇 徳 雄
委員	知 花 徳 栄
〃	仲 眞 朝 雄
〃	神 谷 嘉 栄
〃	城 間 勇

◎議会運営委員会（7人）

議会運営に関すること

委員長	長 浜 宗 則
副委員長	山 内 政 徳
委員	知 花 徳 栄
〃	仲 宗 根 盛 良
〃	伊 佐 眞 武
〃	城 間 勇
〃	國 吉 雅 和

議会構成



年齢別議員数

30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	平均年齢	最年長	最年少
0人	1人	7人	11人	60歳	69歳	41歳

当選回数別議員数

1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期
5人	3人	2人	6人	0人	2人	0人	1人

所属党派別議員数

無所属	日本共産党	公明党	合計
17人	1人	1人	19人

男女別議員数

男性 17名、女性 2名



自治大臣表彰
受章の記念の額

⑤ 読谷村議会 だより

◎基地関係調査特別委員会（9人）

調査事項

- ・基地関係の調査に関すること

委員長	上地 榮
副委員長	伊佐 眞武
委員	知花 徳栄
〃	新城 昭彦
〃	仲宗根 盛良
〃	津波 古菊江
〃	上地利 枝子
〃	神谷 嘉栄
〃	城間 勇

◎議会広報調査特別委員会（6人）

調査項目

- ・議会だより発行に関すること

委員長	當間 良史
副委員長	仲 眞朝雄
委員	新城 昭彦
〃	比嘉 幸雄
〃	上地 榮
〃	神谷 嘉栄

◎予算審査特別委員会（18人）

調査事項

- ・当初予算に関すること

委員長	伊佐 眞武
副委員長	國吉 雅和
委員	議長を除く全議員

◎決算審査特別委員会（18人）

調査事項

- ・決算に関すること

委員長	伊佐 眞武
副委員長	仲宗根 盛良
委員	議長を除く全議員

監査委員、事務組合議会議員

◎議選監査委員

◎比謝川行政事務組合議員

◎中部衛生施設組合議員

◎沖縄県介護保険広域連合議員

◎中部広域市町村圏事務組合議員

◎沖縄県後期高齢者医療広域連合議員

津波古菊江

伊波 篤、伊佐眞武、與那覇徳雄

仲宗根盛良、知花徳栄

國吉雅和

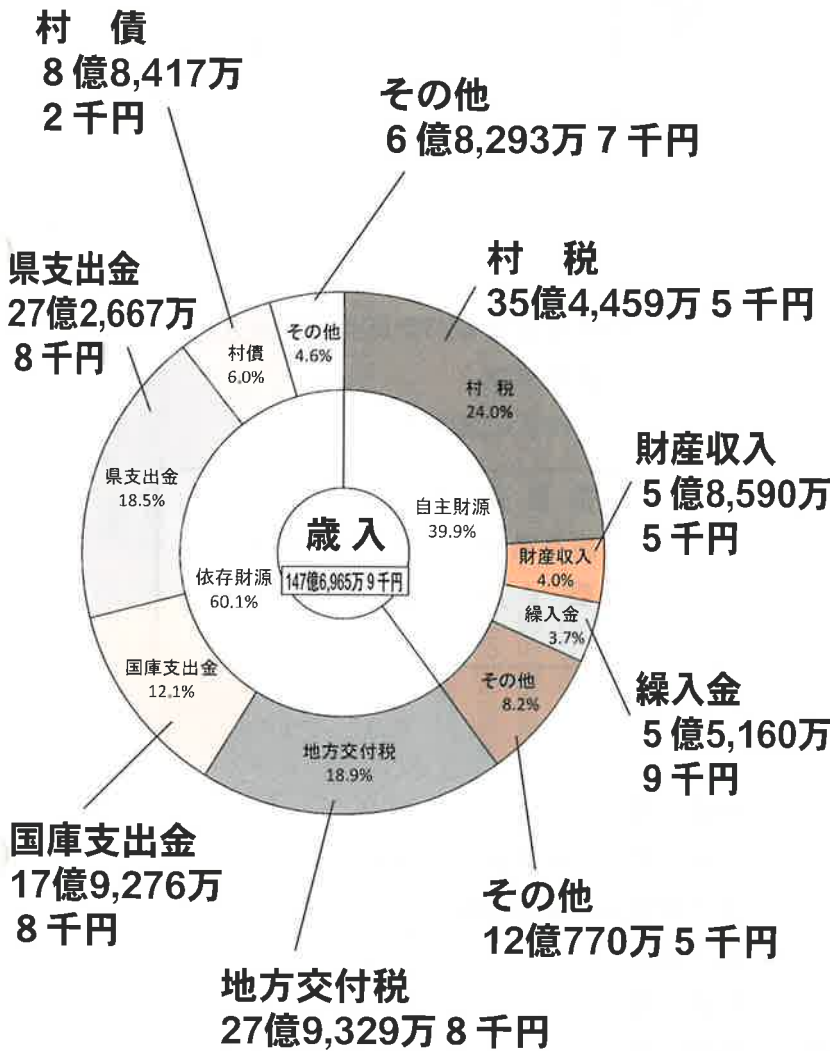
伊波 篤

城間 勇



ように使われました!

歳入 147億6,965万9千円



平成25年度決算は、予算現額15億8千729万2千円に対し、決算額14億6千965万9千円で、収入率は97.3%（対調定97.7%）となっている。歳入全般では、前年度決算額より12億69万4千円（8.9%）の増となっている。

これは、前年度に比べ県支出金（4億6千361万4千円）が大幅増となったことが主な要因となっている。

村税は、歳入全体の24%を占め、決算額は35億4千459万1千円で前年度より、2億266万2千円（6.1%）増となっている。

村税以外の収入未済額は、負担金は131万2千円、使用料及び手数料は245万7千円、財産収入は231万9千円となっている。

歳出決算は、予算現額15億8千729万2千円に対し、支出済額14億9千209万8千円、翌年度繰越額7億4千089万4千円、不用額1億5千430万円で、執行率94.1%となっている。

翌年度繰越額については、予算現額の49%で前年度より4億8千317

万2千円（39.5%）の減となっている。

決算において、実質収支が黒字であるか、赤字であるかは、地方自治体の財政運営上の良否を判断する重要なポイントで、実質収支が赤字であれば財政運営が健全でないことを意味する。

本年度の「実質収支に関する調査」によると、実質収支額は3億4千743万8千円の黒字になっていて、これから前年度実質収支額を差し引いた単年度収支でも4千348万4千円の黒字である。

経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標とされる。本年度の比率（臨時財政対策債を含めた場合）は82.1%で前年度より、0.8ポイント高くなっている。この比率は、町村にあつては70%程度が妥当とされ、75%を超えると注意を要するとされ、年度ごとに経済情勢の変動もあり一概に判断できるものでもないが、財政の硬直化がやや進んでいるのかと懸念されるが、類似団体の指数（87.2）よりは低い数値を示している。

自主財源

村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

依存財源

国や県から割り当てられる補助金や交付金。

財政力指数

財政力を示すもので指標が「1」に近いほど財源に余裕がある。

公債費比率

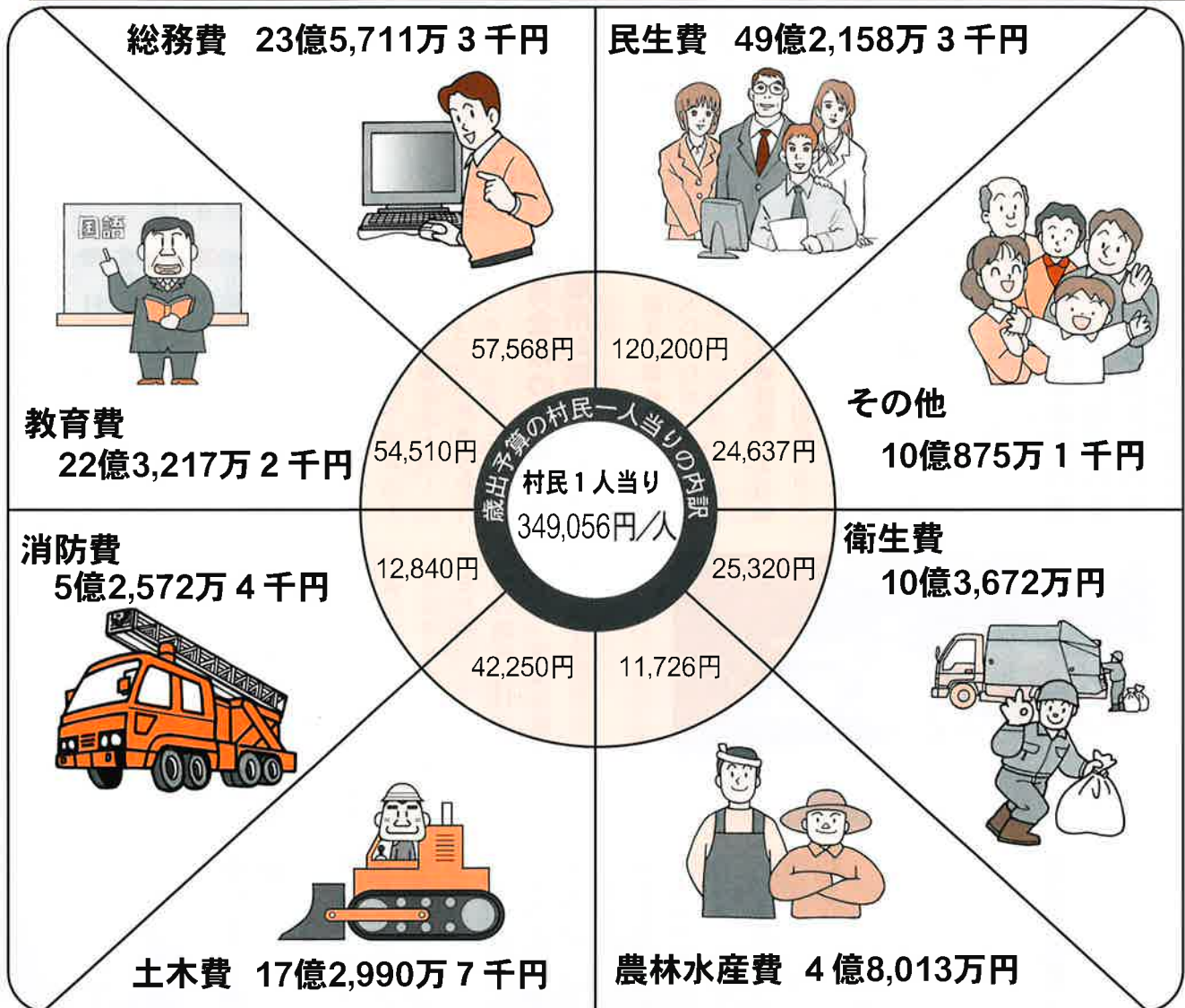
10%を超えないことが望ましく、高いほど財政が硬直化。

経常収支比率

比率が低いほど臨時的経費に充当できる一般財源に余裕があることになる。一般的に70〜80%が適正。90%を超えると財政硬直化。

私たちの税金 この

歳出 142億9,210万円



平成25年度特別会計決算

平成25年度読谷村診療所特別会計決算	205,144,171円
平成25年度読谷村国民健康保険特別会計決算	5,654,867,792円
平成25年度読谷村後期高齢者医療特別会計決算	338,677,652円
平成25年度読谷村下水道事業特別会計決算	451,238,131円
平成25年度読谷村水道事業会計決算	1,099,824,457円

Q 村政に問う!! 一般質問



榮 上地

していないが、災害復旧費として4千100万円余の予算を計上した。

問 伊良皆地区の浸水対策は、

答 伊良皆地区の裏側の村有地に磁気探査を沖縄県の発注により11月頃から着工する。その時点で赤土流出防止対策として小堤工を築堤する。

読谷村議会議員選挙の投票率は60.37%ですが、その要因と今後の対策は

答 要因は六投票区の内、第一投票区(読谷小)を除く五投票区の投票率が低くなっていることが挙げられる。対策として、今回初めて投票率アップのため、選挙公報を発行したが、届いていない世帯もあった。その点についての反省も加え、従来の横断幕やポスター等の啓発活動の研究、検討を行う。

7月に発生した台風8号の被害状況について

問 被害件数と被害総額は、
答 全体で173件の被害が発生した。被害総額の試算は

本村の老人福祉は

問 特別養護老人施設の待機老人は何名いるか。また、その対策は。

答 平成25年10月末の読谷村の待機者は74人で、その中で要介護認定度3から5の方は47人となっている。対策としては地域密着型介護老人福祉施設で定員29人以下の特別養護老人ホームを整備していく計画がある。

子ども子育て支援会議の現段階における事業概要と課題は何か

答 子ども子育て支援計画は平成27年度から平成31年度までの計画である。計画度までの計画である。計画として、認可保育園(90人)を1園増やすこと、村立北保育所の老朽化に伴う建て替え等により50人の定員増をする計画である。また、村立幼稚園では午後の保育を希望する園児はすべて平成27年4月1日より引き受ける計画である。

優良企業の誘致による雇用対策について

問 優良企業を誘致して雇用拡大につながった実績はあるか。
答 企業立地推進をする中で企業等からの相談に対し、本村の土地利用計画と整合性を図りながら、企業が進出した実績がある。主な企業は10件で、雇用人数は2千56人となっている。

村道楚辺五号線の高台アパート周辺の東側道路の空き地の不法投棄とその対策は

答 同箇所については、これまで3回の苦情と要請があり、現場確認の上、不法投棄禁止の立て看板を設置してある。不法投棄があった場合、投棄物の内容を調査し原因者が判明した場合には連絡をとり撤去の指導をしている。また、土地所有者に対し、現場の草木等の伐採等を含めた管理の徹底をお願いしている。なお、質問の箇所は村有地となっており、現場を確認し、今後の対策を検討している。



散乱した不法投棄ゴミ



國吉 雅和

クリーン選挙は可能か

答 昭和49年の村議選挙で32名(定数22名)の立候補者で92%の投票率が、平成26年は21名(定数19名)で60%の投票率。のぼり・横断幕等の撤去命令件数は52件(前回51件)で、7名で

ール沖縄で取り組んだ建白書や選挙公約を翻し、新基地建设を推進することに對する県民の不満・憤りのあらわれであり、県知事選挙の最大の焦点は基地問題です。戦争体験を持つ圧倒的多数の先輩方が保革を越え新基地建设阻止の運動をしています。未来永劫に渡るウチナンチュの主体性を確立する責任世代にある村長として全力で取り組む。

診療所について

31件の通知で最多6回の候補者あり。村民からの指摘は掲示物等に関して、公職選挙法に抵触するのではとの指摘が最も多い。撤去命令を一件も受けない候補者は4名。

提言 投票率を維持するには、次回選挙からクリーン選挙をせざるを得ない。

県知事選挙について

答 8月23日と9月20日の辺野古での県民集会は、オ

問 福祉課長はどのように考えるか

答 新年度から介護保健制度の大幅見直しの中、在宅医療と介護予防の充実が計



られる中で、診療所の必要性が求められる。

問 診療所事務長はどのように考えるか。

答 本年度で体制づくりを図った上で、地域包括ケアシステムを含めた診療所の方向づけに取り組む。

会で答弁あるが。

答 県全体で一括交付金活用の建築物に対しての調整が遅れ10月に補助金申請を指示待ちです。(10月31日県より決定通知あり。)

問 オープン予定は
答 平成28年4月を目指します。

問 火葬場は平成27年度の供用開始であったが。

答 建設費の工面(起債と一部補助金)と施設占用進入路のめどがつき本年度実施設計を発注し、27年度着工で28年度供用開始。



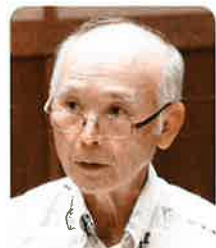
当初計画より遅れている公共建築物の進捗状況について

問 地域振興センターは平成26年6月から工事、平成27年7月オープンと3月議

全国学力テストについて

答 本村の小学校は本県平均に及ばず、中学校は本県平均を少し上回っている活用問題に課題があり、今後とも学力向上を目指した授業改善・授業実践に努める。

八月に公表された全国学力テストについて



仲宗根盛良

問 本村の小学校、中学校の実態はどのように推移しているか。

答 小学校は、国語A問題以外の3教科で改善し、中学校は、国語A問題と数学A及びB問題で改善している。

問 小中学校全教科の中で、特に努力を要するのはどの教科か。

答 小学校では算数B問題、中学校では数学B問題に課題があります。

問 課題について今後の取り組みを伺いたい。

答 ①問題文の読み取りの強化、②書く力の育成、国語の教科と連携した指導と授業改善に取り組みたい。

国保特別会計の赤字問題について

問 赤字の要因が沖縄戦による特殊事情に起因するものと思うが、本村はどうなっているか。

答 平成20年度の「前期高齢者医療費財政調整制度の導入」によるものと沖縄戦の影響が大きく、本村の交付額も低い状況にある。

問 本村の影響額はどれくらい予定されているか。

答 単年度で5.8億円の影響が試算される。

待機児童の定義と見直しについて

問 現在の待機児童の定義と位置づけ、何名いるか。

答 「入所申し込みが提出され、入所要件に該当し、入所していない者」となり、児童の保護者や同居親族が児童を保育できない場合を言い、53人の待機者です。



園庭で遊ぶ児童たち

問 認定基準の見直し内容と見直し後の待機児童数、実施時期はいつからか。

答 求職活動中と育休の継続利用などに拡大され、他方「同居親族、その他の者」の要件が削除され、その結果待機児童が151人予定、平成27年4月から施行。

答 観光とリゾート産業や農林水産業、教育や文化、駐留軍用地跡地利用の推進などに有効活用している。

問 同事業で特に評価できる事例は何か。

答 体育施設等の機能強化により、スポーツキャンプ誘致が促進され、経済効果で好影響が出ている。

ノーベル平和賞を夢見る村民基金について

問 今までの実績を冊子にまとめ活用すべきと提案したが、その後を伺いたい。

答 広く村民に活用していただく為に、21年間で200件の地域づくりに活用した事業報告書をまとめ、自治会や各種団体へ配布しております。

一括交付金事業の評価と今後の有効利用について

問 一括交付金事業の成果を伺いたい。



良史 当間

農家が儲かる「6次産業事業とは」

問 各都道府県や各市町村において6次産業事業が注目されている「6次産業」とは

答 農林漁業者が生産、加工、流通・販売をすることで所得を増大する取り組みや、生産者が2次、3次産業者と連携して地域ビジネスの展開や新たな産業を創設する取り組みを通し、儲かる農林漁業を実現しようとするのが「6次産業化」です。

問 読谷村が行う6次産業の事例、または推奨している事業の数は

答 本村が行う6次産業化の推奨事業はありませんが、村内の事例として、一軒の畜産農家が平成23年度に自

家生産豚のブランド化に向け、加工品、新商品開発及び専門店販売促進事業計画の認定を国から受けています。

本村としましては、6次産業化を目指す農林漁業者が活用しやすいように、窓口での相談や沖縄地域6次産業化推進ネットワークと連携し、情報の収集・発信に努めていきたい。

夜も使えるテニスコート

問 村民センター一地区に建設予定のテニスコート建設の予定はどうなっているか

答 第2次読谷補助飛行場跡地利用村民センター地区跡地利用基本計画において6面コートを考えている。

問 いつごろ完成するのか、またナイターの整備は考えているか

答 中期計画に入っているので3・4年後になるので

はと考えています。ナイター設備については調整中であり、調整中であり、調整中であり、調整中

要望 社会人のテニス団体も国体や中頭体協で活躍しているの、しっかりとサポートできる施設を作っていただきたい。

見受けられている。本村の対応は

答 座喜味城跡入口の公園案内マップにて、周辺道路が一方通行であることを追加表示し来場者へ注意を促している。



ネットも破れている、施設も壊れている、ナイターの設置も破れている、村内のテニスコート

問 座喜味城跡前の駐車場整備事業の進捗状況は

答 昨年度実施計画を終え、用地売買の条件を整えるために県収用委員会の事業認定を待っているところである。

駐車場整備と一緒に一方通行案内を強化し、地域の住民及び観光客にも安心して観光ができるよう調査し対応して頂きたい。

問 今年度の3月議会でも質問をしましたが、いまだに日に4・5台の逆走車両が

「未だ続く危険な逆走車両！」

今年度の3月議会でも質問をしましたが、いまだに日に4・5台の逆走車両が



正輝 山城

村議選投票率低下と違法「名前のぼり」問題⇕(撤去命令を受けていない)四名の方は、大変立派な方!

意を守った四名に対してどう評価しているか

答 大変立派な方。こういう方々が議員活動に生かして頑張ってほしい。



クリーン選挙中の「りっぱな方」

問 投票率低下の対策をどう考えているか。

答 対策は見い出せていない。引き続き啓発に努める。

問 違法のぼりの撤去命令は最終的に何件、何名になったか

答 17候補、52件

問 結果黙認したことになったが今後はどうするか

答 選管としては、黙認していない。嘉手納署へ通報し、対応を依頼した。のぼり排除のためには、村民一人一人に関心を持って頂くことが一番の近道と考える。

問 撤去命令を一回も出さず法律を守り、選管の注

波平産廃跡への老人ホーム建設⇕…未決定。村長…注意深く見守る。

問 地域説明会での反対意見はどういうものか

答 工事によって、さらにガスの噴出が懸念され、不安ということ。

問 ガスの調査結果は、どうなっているか

答 県は、徐々に安定化しつつあるが、いまだ高温の

ガスの発生等を確認。

問 村長は、今の時点でどう考えているか

答 施設は、高齢者福祉に供する。中央残波線と違って掘削する話でもないのので、注意深く見守っていききたい。

児童の補聴器購入に当たっての村の助成

⇓県が実施すれば村も助成することになると思われる。

台風8号による被害対策 ⇓座喜味城跡東側歩道の地すべりは、次年度設計へ。

問 村全体の被害状況は、どうなっているか

答 17件、復旧費4千191万円。

問 座喜味城跡一帯の土質調査、川の浸食対策が必要ではないか。

答 県の文化課に連絡をしている。

波平地内中央残波線調整池問題 ⇓排水路は別ルートへ、悪臭対策は、適正維持管理。

問 管理のための巡視パトロールは、月何回しているか

答 村道の管理作業中、通常の業務においてよく回る。

問 今後の騒音対策をどう考えているか

答 今後の状況にかんがみ対応する。

問 村民とのコンセンサスについてどう考えているか。

答 今後は、隣接者の皆さんに対しても理解が得られるよう努力する。

地域への鉄軌道導入に本腰を ⇓村長：

西海岸は、みんなで議論し、我田引水ではなく、沖縄全体のこととも考えて、トータルで判断していく。地元の意見を言うていきたい。



長濱 宗則

6つの公共事業に概算で約55億予定

読谷村火葬場

10億6千900万

読谷村地域振興センター (仮称)、8億8千万

読谷村調理場、9億7千万

千円

図書館、(仮称、総合情報センター)、15億

ユンタンザミュージアム、9億7千万

古堅南小学校校区児童館、1億4千万

問 その財源は

答 財源は、一括交付金、防衛費、基金と起債でランニングコストは別途掛かる。



25年度、基地関係で交付された金額は11億498万9千円

問 ①国有提供施設等所在交付金は、②施設等所在調整交付金は、③読谷村軍用地財産収入等の金額は

答 ①6千578万7千円、②2億4千697万5千円、③5億6千442万円で8億7千678万2千円、その他、九条交

付金で2億2千820万7千円、合計11億498万9千円交付され一般会計で受けている。

読谷道路の大木側から古堅向け左折の際に右方向の雑草が生い茂り大変危険である、把握しているか

答 廻りの雑草が伸びると見とおしが悪い場所である、南部国道事務所にお問い合わせ所、年2回除草作業を行っており次回は27年度2月を予定している。大木自治会が独自で除草を行っている。状況に応じて、適宜対応していくことでした。

大木自治会が率先して対応して頂き大変感謝しております。

問 大木―比謝線、大木―古堅線交差点の信号機の深夜から早朝までの点滅信号を平常信号に移行できないか

答 将来的には必要と認識しており、今後関係機関と協議し設置に向けて検討したい。

問 コンビニに設置は考えていないか

答 外に設置した場合、いたずら、持ち去り等が考えられる。

問 公共施設等は土日、祝祭日は閉館していて緊急の際に使用できない心配がある。管理面の課題とはなんですか

答 管理面の課題をクリアしなければ実施できないと考えている。

問 公共施設等は土日、祝祭日は閉館していて緊急の際に使用できない心配がある。管理面の課題とはなんですか

判断した交差点で行っている。嘉手納署に確認したところ地域の要望があれば、平常に戻すことが可能とのことでした。

AEDの公共施設の設置場所を施設外に移動できないか

答 深夜帯の信号機点滅は、公安委員会が深夜帯における交通量が非常に少ないと



比嘉 幸雄

安全、快適、潤いのある村づくりから

この事です。

問 騒音に対する付近住民の怒りは限界です。建て替え時期が来たとき検討するという事です。すぐ水釜交換がここ2年くらいのうち撤去されています。いまこそ建て替え時期では？

問 国道58号沿いの交番所設置について

答 水釜交換が無くなつた理由は確認していません。現在の駐在所の状況は県内築30年を超える交番所も56件存在しているということも受けています。

答 警察本部に問い合わせたところ、新規の交番設置は検討しておらず難しいものがあると思われます。

問 県道、村道における横断歩道の白線が消えて見えなところについての対策は至急対策が必要ではないか。

村内の駐在所、交番所の建て替え時期がきた際に設置場所を検討していくことになることですが建て替え時期のめどにつきましても現段階では答えられない

答 交通安全のためには横断歩道の白線が消えて見えなところについての対策は至急対策が必要ではないか。

断歩道をきれいに引いて、歩行者の安全を図るといふ事は必要だと思います。予算的には厳しいかもしれないけれども要請はしていきたいと思えます。

問 防犯灯の村管理と各字管理の灯数状況は？

答 平成25年末で村管理の防犯灯は1千73基、字管理の防犯灯は1千75基、村管理分の料金が2千43万2千円、字管理の料金が49万2千円です。

電力との契約は切られていますか。

答 今は撤去していないので契約は継続し料金は支払っています。

問 厳しい雇用情勢を踏まえた雇用機会の創出とは具体的にどういうことが考えられるか。

答 平成21年より事業を実施し25年までに29事業で延べ56名の雇用の創出がある。

問 その数字は多いと見るか少ないと見るか

答 村民の人口割りにするとやはりまだまだ失業率対策にはなっていない。

問 大湾土地区画整理事業区域内での大型店舗は一軒だけでしょうか。

答 商業店舗地区を今調整中で大型店舗小売業、カーティダー老人福祉施設、スタンドです。

問 県道6号線沿いに外灯が消えている所がありますが、

答 LED化が可能かたまた今検討をしています。



伊良皆、大湾排水路

台風8号の被害状況について



津波古菊江

前8時頃から9時頃の間、冠水し約500メートルが通行止めとなる。比嘉さん宅の雨水対策については排水路の設計が議決されました。新崎さん宅もその中で対策が出来るか考えたい。

問 長田川、比謝川の氾濫による比謝町付近から大湾

交差点近くまでの国道58号の冠水状況と比謝町在の比嘉さん、新崎さん宅のけい地からの雨水被害の対策について。

答 台風8号の記録的豪雨で、長田川、比謝川が氾濫し、国道58号の比謝川付近が午

問 大湾1号線や地域住宅の冠水状況と伊良皆、大湾排水路の氾濫の対策について。

答 村道大湾古堅線を横断している排水路のボックスカルバートの断面積が上流側より小さいのが冠水の

原因なので伊良皆大湾排水路委託業務において改修工事の設計を行い、工事は財政状況等を鑑み次年度以降実施していく、また丸秀建機側の県道16号線下についても設計の中で検討していく。

がないので認められない、抜本的な崩落対策工事の試算もしてみたが莫大な費用がかかる、結果として公園の立ち入り制限を行い、住民の安全に寄与し関係住宅の方々へはしっかりと説明をしていく。



城間 勇

台風8号による被害状況と大雨対策について

答 裏側の村有地に沖縄県の発注により磁気探査業者が行う赤土流出防止対策として小堤工を築堤する。

問 村道伊良皆南線道路が冠水して車両やタクシーが水没しておりますが。

問 比謝川、長田川の氾濫と比謝川ダム堰との関連性。

返還軍用地内の文化財大湾アガリヌウガン遺跡の範囲確定調査の進行、進捗状況と今後の保存への対応について。

問 比謝川沿いの土手牧原区の方々の墓4基の浸水被害状況について。

答 既存の側溝をグレーチング付き側溝に取り替える工事を行う。

答 県の河川課と企業局で堰を含めて対策の検討が進んでいる。

答 大湾16、17番地にまたがり11〜14世紀グスク時代始まりの建物跡の柱穴、石列、鍛冶屋跡、炭化した麦、稲が発見され、18〜19世紀頃の珊瑚砂利も確認され範囲確認調査は平成29年まで予定、保存への対応は国指定史跡の保存を目指す。県や文化庁の指導では長田川、比謝川沿いのグスク時代の複数の遺跡を絡めて調査し、歴史的価値を見出す必要があり、今後計画していく必要があると考えている。

答 現場のほうを見てみたいと思います。

問 大湾76番地が床上浸水しておりますが。

答 役場を含めて公共施設障がい者に優しい施設づくりに鋭意努力していく。

問 大湾56番地2周辺の伊良皆大湾排水路が氾濫して、車両やタクシーが水没しておりますが。

答 雨水が敷地に流れ込まないように土嚢を設置する等自己防衛策が必要。

泊城公園崖地崩壊の現状と対応について。

答 原因は崖地部分の風化した表面の剝離が広がっているが内陸部への影響はない、災害復旧事業としても公園施設内の工作物に直接被害

問 伊良皆大湾排水路設計委託業務におきまして、改修工事の設計を行いたい。

読谷まつり闘牛大会や各種イベントも可能な多目的施設(闘牛場)の建設について

問 伊良皆496番地4読谷飛行場跡地から大水が流れてきて、ブロック壁が倒壊して敷地内に水が浸水して床上浸水しておりますが。

問 温泉の湯量把握の温泉掘削工事を早期に実現させる取り組みについて、村当局と渡具知区との話し合いの中で、カフェレストランもめんばるへの進入路の一時使用承認で機材搬入の進



読谷まつり闘牛大会

答 関係課集まって話し合いをしているところ、赤犬子展望広場ですと楚辺区とも相談をしていますので、その経過も踏まえてスペースがあるかどうか確認をしながら考えていきたい。

答 入路として使用できないかとの話し合いがされましたが、渡具知区が事業所からの検討した資材の中で、大型トレーラーでの機材搬入のため道路幅員に無理があるとのことで、渡具知区、事業所、村当局の事前協議の中で別ルートでの検討が必要だと思いますが。

渡具知海岸沿いの遊休地への温泉つきリゾートホテル建設について

古堅地域旧外人住宅地域の住環境整備について

答 渡具知地域におけるホテル建設につきましては、渡具知自治会といたしましては再度区の審議会で確認した後に、村の方に協議に伺いたいとの話でございましたので、現在その推移を見守っている状況。

問 赤犬子展望広場の中で見直しをしていって設置できないか。

問 古堅地域旧外人住宅地域の住環境整備について

答 平成17年度と19年度に道路概略設計を行っております。今後は村道認定の要望書や同意状況を踏まえ、整備計画を検討する。



上地利枝子

読谷村地域福祉計画の進捗状況について

福祉委員会の現状

答 現時点で、「地域支え合い活動委員会」と称し、目標としている5ヶ所の地区で設置をして、身近な地域で福祉活動を展開するため、見守りや支え合いの体制づくりに取り組んでおります。

問 コミュニティソーシャルワーカーの活動状況

答 「地域支え合い活動委員会」の設置に向けての取り組みを行い、その活動を展開する中で、支援を必要とする方の家庭訪問や個別相談等の支援を行っております。

問 地域での相談支援拠点の確保について

答 検討中です。

問 全国的に自転車による交通事故の多発と、賠償問題がクローズアップされています。本村における状況について伺います。

答 交通事故の件数は15件で、あくまでも事故として届け出た分、届け出が出ていないようなケースもあると思いますので、実際の事故というのはいくら多いと考えます。

問 自転車の安全指導についてどのように行っているのでしょうか。

答 嘉手納地区交通安全協会と連携をして各小中高生へ自転車の安全指導を行っております。

問 自主防災組織の取り組み状況と今後の予定

答 現在5ヶ所ございます。海岸線沿いについては自主防災会を設立しましたので今後は内陸側の自治会の自主防災会の設立を推進していきたいと考えております。

問 放課後の子供の居場所として村の支援について伺います。

答 児童が伸び伸びと過す場として「わんぱく広場の拡充」「児童館の建設」等に務めております。部活動充実のため指導者研修会を実施毎週土曜日に「アカインコ三線クラブ」、小中学生に対して、三線、琴、太鼓などの伝統芸能の育成事業を実施しております。

問 本村陸上競技場の環境整備について伺います。グランド内とウォーキングコースの照明をもっと明るく出来ないか。

答 村として将来的には整備をしていきたいとの考えをもっておりますので、電力供給や財源等の課題もありますが、検討していきたいと思っております。

問 子供医療費完全無料化について。

答 国の施策は、まだ見えておりません。

問 整備当時はスタンドの屋根については設置の計画はされていませんでした。今後、運動施設ゾーンの整備計画がありますので検討していきたいと思えます。

答 整備受当時はスタンドの屋根については設置の計画はされていませんでした。今後、運動施設ゾーンの整備計画がありますので検討していきたいと思えます。

問 スタンドに屋根の設置の考えはないですか。

答 入口等が埋もれているガマは何カ所あります。5カ所、埋もれていないガマは16カ所。

問 渡慶次地下洞窟群と都屋テイヤの壕の埋もれた入口を掘り起こして活用する考えはありますか。

答 貴重な場所と認識するが掘り起こす計画はない。

問 安全な入口を確保し平和教育に役立てないか。

答 洞窟群の井戸以外に埋もれた入口の把握に努める。

問 らせん階段を設置してみてはどうか。

答 らせん階段設置がどのようになっているか考えてみる。



與那覇徳雄

戦争遺跡(ガマ)の活用について。

問 地下洞窟群とテイヤの壕を戦争遺跡として登録する考えは。

答 今後調査検討していく。

問 特攻艇秘匿洞窟崩落は早急な対策が必要ではないか。

答 対策については関係機関と調整している。

問 文化財保護として、早めの修復ができないか。

答 文化財未指定のため保存と整備は活用できない。

問 戦争体験者の講座を開設する考えはないか。

答 体験談を生かした取り組みを検討していく。

問 文化財等の説明板の設置計画はありませんか。

答 ガイドブックで情報提供している。



子ども達へ安全指導の徹底を!



問 地域の歴史や文化を知ることが出来るか。

答 55カ所の内24カ所に設置してある。順次設置



都屋区内のティラの塚

沖縄振興特別交付金の活用について

問 舞踊、三線等を習得している中高校生を他県に派遣し、観光誘致を図ってみる考えはないか。

答 観光誘致につながる魅力あることを前提に検討。

問 子ども会を中心にエイサー隊を編成するなどの交付金活用は。

答 体力面等課題が多く県外派遣は難しい。

村道波平く渡慶次線の歩道等の石柱について

問 チビチリガマの駐車場にある石柱及び手摺を移動、撤収することが出来ないか。

答 歩行者の安全確保を図る観点から難しい。

問 ウォーキング者の安全面から数を減らす考えは。

答 車止めの数を減らすことは難しい。



新城 昭彦

楚辺通信施設地利用について何う

問 ア地区計画の都市計画決定に向けての進捗状況について何う

答 イ前島地区の楚辺通信施設周辺復帰先地公共施設整備事業の進捗状況と事業完了予定は、ウ村道波平5号線工事の進捗状況を何う

答 ア都市計画提案制度に基づく地区計画書を庁舎内調整を行い、沖縄県と事前協議をして都市計画手続きを行う予定

イ平成25年度、約50%本年度未で約70%を予定、事業完了は、平成27年度を予定。ウ平成26年度楚辺通信所跡地復帰先地公共施設整備工事で整備する予定

問 地主会から出された地区計画の都市計画提案書の庁舎内調整会議の開催は

答 都市計画課の係で提案要件の確認に入っている。

各関係課の会議も踏まえ早めに事案が決定できるように努めていきたい。

一括交付金で平成24年度に楚辺通信所跡地地区計画策定調査委託業務を発注し、地区計画の決定に地主会と行政と一緒に策定を、平成24年度地区計画に関する調査委託業務、環境基礎調査業務の発注、平成25年度に地区計画に向けた調査業務が一括交付金で認められる。

平成26年度は、一括交付金が認められなかった。

要望 楚辺通信所跡地は、地主会の皆さんが夕日に映える緑と癒しのゆとりある田園都市住宅になることを願って申請をしてみました。

石嶺村長始め各担当課で、この地区計画が早く進められるように期待を申し上げます。

村道波平く座喜味城線の交通安全対策について何う

問 ア座喜味城前の一方通行出口から県道12号線までの大型車両の通行制限や進入禁止ができないか

答 イ歩行者の安全対策、歩行者専用表示やポール設置ができないか

答 ウ横断歩道、停止線が消えているので、早急の対策が必要と思うが

答 アくこの道路は、長浜方面から村民センター地区へのアクセス道路として利用されている。大型車両の通行制限や歩行者の安全対策は現場の状況等を調査し、嘉手納署や自治会長など関係者と協議を行い検討等をして行きたい、横断歩道と停止線の白線は、嘉手納警察署に要請をして行きたい。

要望 この道路は、子供達の通学道路になっているので早急の安全対策をお願いしたい。



朝夕交通量の多い東門(カザリヨウ)近くの交差点

波平土地改良区内の沈砂地について何う

問 ア沈砂地の中や周囲が草や木が茂りハブを見受ける。維持管理を何う

答 イ海岸線のハブ対策と捕獲等の情報があるか何う。

答 ア維持管理は、読谷村農地水環境保全管理協定運営委員会と地域共同で管理

イ平成25年度に一括交付金で残波から都屋まで160器の捕獲器を設置、5月く9月、20匹を保護している。

要望 海岸線は、観光客の家族も多く利用、環境を整備してハブ等の捕獲対策を早急にお願したい。



神谷 嘉栄

県道6号線瀬名波駐在所前信号機の設置について

問 当該地は、児童・生徒の登下校時の通学路であります。往來する車両が多くて横断に危険な地点です。信号機の要請をすべきと考えますが、いかがでしょうか。

ところが、帰宅時間がまちまちとなる下校時の横断は懸念されますが、そのことについてどう思われるでしょうか。

答 駐在所前の道を横断することは非常に車の往來があることから危険と言いつても承知しております。この横断につきましては、

瀬名波公民館下側、県道6号線沿いの信号機のほうを利用していただく形がとれないかと考えております。



瀬名波駐在所前

問 現在、児童の登校時には地域の方が、交通安全指導のボランティアを行って、深く頭の下がる思いであります。

村道残波線沿いのカーブミラーの増設について

問 農道から村道へ合流する際、スキ等の雑草が生い茂る見通しの悪い危険な地点への増設はできないでしょうか。

答 道路反射鏡（カーブミラー）につきましては、毎年度5基程度設置しておりますが、設置箇所を選定は

毎年度の要望箇所及びこれまで保留になった箇所を含め、優先順位の高い箇所から設置していきます。今回要望のある箇所につきましては、他の要望箇所を含めた中で、検討していきたいと考えています。

問 毎年度の要望箇所及び保留になった箇所とおっしゃっていましたが、それは一体何件あるのでしょうか。

答 今年度申請された箇所の13件を含め、現在の道路

反射鏡の申請件数は46件になります。

問 農道から村道へを交差する場所は、農作業を行う方々にとっては日々の生活

道です。また、村道残波線はその名称がつくぐらい景勝地残波岬へと通ずる道。ましてや初めての知らない土地でハンドルを握る方も多々いらつしゃいますと思いますが、懸念はないでしょうか。

答 農道から右折の際、見えにくい状況は確かめております。今現在、46件の申請を限られた予算内で選定しなければなりませんので、今回の場所もそれに合わせて確認していきたいと考えております。



山内 政徳

問 上地地区の集会所設置についての進捗状況はどうなっているか

答 これまで3度打ち合わせを行っておりますが、設置場所の変更のほか、規模決定や資金計画などの調整

があり正式な申請手続きに至っておりません。これから課題を整理し、事業実施に向け取り組んでまいります。

問 波平区内旧読谷保育所跡地の売却についての進捗状況は

答 現在購入希望が一件ありまして、今後不動産鑑定

を行い価格の折り合いがつけば、年度内には売却価格を決めていきたいと考えております。



旧読谷保育所跡地

問 久得牧原線について、完成から何年経過しましたが、また、今まで維持管理にかかった費用は。また将来、県道にこのことだったと思うが、どうか。

答 既に村道として整備が済んでおりますので、県道格上げの予定はございません。

問 利用の形態が県道なのか村道なのか。

答 読谷村から移動した車

のほうが多いのか、それとも他市町の車が多いのかも少し調査をさせてください。

問 読谷村は嘉手納町、北谷町等に比べたら公園等にバスケットリングが少なく、もつとふやしてほしいとの要望があるが。

答 地域の要望を踏まえて、バスケットボール場設置について検討していきたい。

問 子育て支援制度について。インターネットや、ポスター等で広報。ニーズ調査は53項目、結果についてはホームページで公開。子ども子育て会議は公開していない。認可園を1園増。村立保育所建て替えて定員増。村立幼稚園では午後保育を希望する園児は、すべて引き受けていく計画であります。待機児童

については、26年度は33名、27年度は15名を想定。

問 胃がん予防のためにピロリ菌検査費用の助成について実施している市町村は、沖縄県内にあるか。

答 嘉手納町、沖縄市。

問 15歳までの子ども医療費の無料化について。

答 努力はしてまいります。

平成26年 4月1日から!

読谷村子ども医療費助成 自動償還制度スタートします!

読谷村へお住まいの方は

「子ども医療費助成金受給資格者証(自動償還)」の提示をお願いします。

※支払いはこれまで通りです

医療機関で受給資格者証を提示することにより、これまで行っていた市町村窓口での払い戻しの手続きが不要となります。入院等の例外を除き、診療月の翌々月に本日本お支払いの保険適用分の自己負担金が、読谷村から自動的に指定された口座へ振り込まれます。

※受給資格者証を提示することにより、「子ども医療費助成金」の支給に必要な一切の情報を沖縄県国民健康保険団体会合及び読谷村へ提供する旨同意したものとみなします。不都合があれば下記へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 読谷村役場 子ども未来課 子ども医療費助成金担当 TEL:098-982-9240

子ども未来課からのお知らせです。



新垣 修幸

読谷警察署の実現にむけて

問 村民が安全かつ安心して暮らせる生活環境は大切です。「日本一人口の多い村」へ警察署の移転立地を推進すべきと思うが。

答 結構いろんな力学が働くとおもうんですが取り組んでいきたいと思えます。また、議会でも誘致決議等いろんな動きを一緒にやってみていきたいと思います。

問 青少年等の健全育成や教育の立場から教育長の見解を伺います。

答 読谷警察署が是非必要だということは私も同感であります。学校教育において一番大事なことは安心安全が一番であります。

総合病院の誘致について

問 安全安心なむらづくりのため「夜間や緊急対応可能な総合病院を身近に」の声を実現に向けて取り組むべきと思うが。

答 沖縄県保健医療計画及び沖縄県において今後策定される地域医療ビジョンとの整合性を図らなければなりません。

問 総合病院と警察署、消防署は不離一体、村長は総合病院を誘致する意思があるのかどうかその手腕にかかっていると思えますが村長の見解をお伺い致します。

答 私も村民から話を多々受けております。県全体の計画の中で既存のベッド数を読谷村に移すということができれば実現するのかなと思っております。詳細を検討させて頂きたいと思えます。

読谷村の今後の農業振興について

問 本村の農業振興を今後どのように進めていくか中長期的計画があれば伺いたい。また、今後の農業粗生産額目標は、平成25年まで過去10年間の農業粗生産額はいくらか。

答 適地適作地域特性を活かした営農類型を、創作物の地域ブランド化による付加価値の得られる収益性の高い農業をめざしている。中長期的計画につきましては読谷村総合計画基本構想や基本計画等に基づき地域資源を活かした農業振興に取り組んでおります。今後の農業粗生産額目標は設けておりません。過去10年間の農業粗生産額、平成16年18億3千万円、平成17年17億円、平成18年18億2千万円、平成19年以降については国における統計業務の見直しにより市町村別公表が中止となり資料はありません。



読谷村にも警察署を!

問 自前の統計資料もなく農業振興はできない。目標値を持つていないと打ちできない。農業振興を図るうえで役場や農協、県の機関からも職員を派遣してもらいチームを編成しリーダーを据えて本村の農業振興を図るべきと思うが。

答 おっしゃっているように関係機関網羅して農業振興に務めていきたいと思えます。



伊佐 真武

県内の国民健康保険について。

者の加入率は全国平均 32.9% に対し、読谷村は 16.6%となつており、加入者を全国平均で試算した場合より約 5 億 8 千万円低い額となっており、一人当たり換算すると約 3 万 7 千円となります。

問 沖縄戦の影響で、65 歳から 74 歳までの前期高齢者の割合が全国平均の半分程度である中、国保会計への交付金が全国並みに交付されず、県内の国保財政が不利益を被っている現状があります。

② 県知事を筆頭に関係 6 団体での国への支援要請は終え、事務レベルでの調整会議も済んでいます。国からの具体的な指示はない。

問 村長はこの件に関してどう臨まれますか。

答 沖縄の歴史的な背景に基づく制度の欠陥であり、ぜひ是正していただきたいと働きかけたい。

伊良皆地域の袋地について。

問 伊良皆南線沿線にある教会周辺は行き止まりになっていきます。現状は地域住民の生活上の不便さ、防災上の問題があります。村の見解を伺います。

① 仮に読谷村で前期高齢者の割合が全国並みとすれば現在の交付金はどの程度増えるのか。また国保加入者一人当たりについてはどう変わるのか伺います。

② 県内関係機関の制度の是非を求める動きはどうなっているのか。また国の対応は現段階でどうなっているのか伺います。

答 平成 24 年度の前期高齢

答 これまで通行していた私有地が駐車場として利用



伊良皆地域の袋地

され、通り抜けができない状況になっており、地域の皆さんの日常生活に不便を与え、防災や緊急車両の通行の面からも好ましい状況ではないと考えております。

問 伊良皆南線につながる活道路の検討はどうか。

答 構造的に取り付けが可能か、また土地所有者など関係者の理解が得られるならば、整備事業もありますので整備して安全を図りたい。

問 台風 8 号の影響による大雨で平張りハウスが冠水

飛行場跡地利用について。

問 当該地は大雨の時、周辺から大量の雨水が流れ込み、床上浸水する現状があります。対策として側溝を西側へ延長すれば改善されると思いますがどうですか。

答 浸透枡が一番低い所になつていきますので、その辺は可能かと考えられます。

大湾 750 番地周辺の浸水対策について。

その他にも次のような一般質問がありました。

質問者

質問事項

仲宗根 盛良

◎人口日本一の村「1周年記念」祝について

知花 徳栄

◎村長の知事選に望む姿勢について
◎台風 8 号による被害状況について
◎平成 26 年度農林水産祭の式典の内容について

當間 良史

◎海兵海岸環境美化推進事業について

長浜 宗則

◎交通安全対策から
◎AED の設置から

比嘉 幸雄

◎ゆんたんぎ産業づくり

上地 利枝子

◎ファミリーサポートセンターへの利用料支援について

仲眞 朝雄

◎第 4 次総合計画、後期基本計画から



知花 徳栄



仲眞 朝雄

平成26年 第434回 定例会 議決結果賛否一覧表

件 名	議決結果	議 席																		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	氏 名	與那覇 徳雄	知花 徳栄	新城 昭彦	山内 政徳	山城 正輝	仲宗根 盛良	仲 眞 朝雄	新垣 修幸	當 間 良史	比 嘉 幸雄	津波古 菊江	上 地 利枝子	上 地 栄	伊 佐 眞武	長 浜 宗則	神 谷 嘉栄	城 間 勇	國 吉 雅和	伊 波 篤
第434回 定 例 議 会																				
平成25年度読谷村一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村診療所特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度読谷村一般会計補正予算（第4号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度読谷村診療所特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
読谷村喜名番所観光案内所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
波平7号線の村道認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度 楚辺通信所周辺復帰先地公共施設整備工事請負契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物品供給（パソコン・周辺機器等一式購入）契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度 村道楚辺座喜味線整備工事（2工区）請負契約について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
固定資産評価審査委員会委員の選任（比嘉進氏）について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任（津波古菊江氏）について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副村長の選任（田島利夫氏）について	同意	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成25年度読谷村継続費精算報告書（一般会計）について	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度沖繩県町村土地開発公社事業及び決算の報告について	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村健全化判断比率の報告について	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度読谷村水道事業会計資金不足比率の報告について	報告	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
基地関係調査特別委員会設置に関する決議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会広報調査特別委員会設置に関する決議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機のパネル落下事故に対する意見書	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
米軍嘉手納基地所属のF-15イーグル戦闘機のパネル落下事故に対する抗議決議	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議案賛成者は○とし、反対者は×とします。退席者は－、欠席者は欠としています。
議長は採決に加わらないため、斜線としています。法律により、採決に加われない議案については、除と表現しています。



そこが知りたい!

村民から、「そこが知りたい!」と要望の多い村の施設及び団体をご紹介するシリーズ第一弾は、国道58号沿い、大澗交差点にオープンした「比謝缸複合施設」です。読谷村の誇る伝統工芸品である花織りの模様入りタイル張りの外観が素敵なビルです。

中でも今回は、子育て支援施設として機能している2つについて取材してきました。

「読谷村つどいの広場」

お昼時に伺ったが利用者である母子、スタッフが笑顔で

迎えてくれました。当初は3歳児までの親子を対象としており、取材時も10組程の利用者が楽しんでいました。月に延べ600人の利用がありました。ベテラン指導員と共に、親子で時間や空間を共有する。また保護者同志も盛り上がり、手芸やサンシンのサークルも自主的にできたそうで情報交換やネットワーク作りの場にもなっている。

問合わせ先=つどいの広場

☎098-957-3370

主管課=こども未来課

☎098-982-9240



11月30日 よみたんファミサポフェスタ



つどいの広場 お弁当タイム

入居施設

◎読谷村

1階

つどいの広場

◎読谷村ファミリーサポートセンター

◎就労支援センター ういず

2~3階

◎28市町村で構成する

沖縄県介護保険広域連合事務所

◎本施設ビルは、読谷村が10年間借用した後、無償譲渡を受けるリース方式です

「読谷村ファミリーサポートセンター」

同所は、利用会員（おねがい会員）、サポート会員（まかせて会員）、両方会員（どっちも会員）と、計331名の登録会員を有する。

「地域のみんなでたすけあう子育て」を合言葉に、冠婚葬祭・参観・PTA活動・残業・出張など実に多様な場面にフィットした育児支援活動を行っている。

会員登録は無料だが、利用は保護者負担の有償ボランティアによる。

会員間をつなげる役目であるチーフアドバイザーの知花洋子さんに話を伺った。

「共により添う子育て支援をモットーに、地域で（子育て力）を高めるため、よみたんファミサポはパパ、ママを支援していきます。またリタイヤ世代の男性にもサポーターになってほしいと考えています。会員登録と同時に保険加入するので安心です」

あなたのキャリアと時間を今一度村の将来を担う子ども達のために使ってみてはいかがでしょうかでしょう。

問合わせ先=ファミサポ

☎098-953-3525

議会だより編集室

去る9月の議員選挙に伴い、新しい議会広報調査特別委員会がスタートしました。

村民に待ち望まれる、身近な議会情報誌を目指し、常に紙面改革に取り組んでまいります。また、取材力、機動力を強化してまいりますので、ご協力をよろしくお願いたします。

写真向かって右より

- 委員 比嘉幸雄
- 委員 新城昭彦
- 委員 上地榮
- 委員長 當間良史
- 副委員長 仲眞朝雄
- 委員 神谷嘉栄

